

令和7年度 懷徳堂

4月  
開講

# 古典講座

## 受講生募集

全6コース

九条兼実の日記『玉葉』を読む — 王朝貴族から見た武将たちの横顔 —

『日本書紀』舒明紀を読む

懷徳堂の人々 — 続・懷徳堂人物伝 —

黄表紙を読む — 山東京伝と蔦屋重三郎 —

親鸞を読む

変容する能

重建懷徳堂復元模型

### 受講料および会費

オンライン講座受講料：会員8回講座 12,000円（非会員 16,000円）、4回講座 6,000円（非会員 10,000円）  
対面講座受講料：会員8回講座 16,000円（非会員 20,000円）、4回講座 8,000円（非会員 12,000円）  
会 員（年会費）：普通会员 3,000円 賛助会員 10,000円

### 古典講座申込み方法

全講座「事前登録・予約制」です。オンライン講座はメールフォームからの受付のみとなります。

申込み用URL、またはQRコードより必要事項を入力の上、お申込みください。

対面講座のみをご受講の場合に限り、電話でのお申込みが可能です。その際の受講料お支払い方法は「ゆうちょ銀行への振込み」となります。定員なり次第、締め切ります。

【申込方法】WEB、または電話より受付

【申込専用フォーム】 <https://select-type.com/e/?id=wxxZMc-DHN8>（ホームページにも掲載）

【電話】06-6843-4830（令和7年4月1日より、電話受付時間を平日13:00～16:00と致します）



### お支払い方法

「クレジットカード決済」「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行への振込み（振込手数料は受講者のご負担）」が利用できます。

【注意事項】

・オンライン講座のご視聴には、パソコン・タブレット・スマートフォンのいずれかとインターネット環境が必要です。

・諸事情により、講座内容・時間が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。開催中止等に伴う各種お手続きについては、別途ご連絡いたします。

(財) 懷徳堂記念会賛助法人 (50音順) (令和7年1月22日現在)

(株) あおい  
朝日放送テレビ(株)  
(株) イーキ  
稲畑産業(株)  
米光ホールディングス(株)  
SMBC日興証券(株)  
国立大学法人大阪大学  
大阪大学出版会  
認定NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ

(株) 大林組  
(株) カネカ  
(宗) 華僑春日神社  
(株) 関西みらい銀行  
近鉄グループホールディングス(株)  
(株) 近鉄百貨店  
(株) さんでん  
(株) ケーエスアイ  
(株) 合通ロジ

(株) 鴻池組  
コクヨ(株)  
三機工業(株)  
サントリーホールディングス(株)  
(株) 自然総研  
住友化学(株)  
住友商事(株)  
住友生命保険(相)  
(株) 住友倉庫

住友電気工業(株)  
浄土宗 智願寺  
(学) 清風学園  
ダイキン工業(株)  
(株) 竹中工務店  
東洋紡(株)  
TOPPAN(株)  
長瀬産業(株)  
中西金属工業(株)

日本製鉄(株)  
日本板硝子(株)  
(株) 日本総合研究所  
ハウス食品グループ本社(株)  
パナソニックホールディングス(株)  
阪急電鉄(株)  
(株) ヒガシトウエンティフン  
ヒジマル醤油(株)  
(株) 福永懷徳堂

丸一銅管(株)  
三井住友カード(株)  
三井住友海上火災保険(株)  
(株) 三井住友銀行  
三井住友信託銀行(株)  
三井住友ファイナンス&リース(株)  
(株) 三菱UFJ銀行  
(株) 遊文舎  
(株) 読売新聞大阪本社

(株) リソナ銀行  
レンゴウ(株)  
(株) ロイヤルホテル

ほか、9社

主催：(財) 懷徳堂記念会 共催：大阪大学文学部、人文学研究科



## オンライン講座 Zoomによるオンライン開催 8回 完結

### Aコース ▶ 九条兼実の日記『玉葉』を読む — 王朝貴族から見た武将たちの横顔 — 原則第4月曜日 13:30~15:00

川合康先生(大阪大学名誉教授)

『玉葉』は、鎌倉時代初期に摂政・関白となった九条兼実の日記の名称で、長寛2年(1164)から建仁3年(1203)にいたる期間が現存しており、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての政治・社会・宗教・儀式などを詳細に記す第一級史料です。兼実は少年時代に公卿となって以降、長期間、朝廷内で重きをなしており、平清盛をはじめとする平家一門の繁栄ぶりや、木曾義仲・源義経らの興亡、鎌倉幕府を創始した源頼朝の上洛などを目の当たりにし、自分なりの人物評を『玉葉』に記しました。本講座では、時代の転換期に活躍した著名な武将たちの横顔を、王朝貴族の目から探っていきたいと思います。

### Bコース ▶ 『日本書紀』舒明紀を読む 原則第4水曜日 10:30~12:00

市大樹先生(大阪大学教授)、河上麻由子先生(大阪大学教授)、高橋照彦先生(大阪大学教授)、若井敏明先生(関西大学等非常勤講師)によるリレー講座

『日本書紀』を読むシリーズの第5回目。舒明天皇は天智天皇・天武天皇の父親で、後の皇統からみて始祖ともいべき人物でした。そのため舒明紀の冒頭では、推古天皇の遺言をめぐって、舒明天皇の即位にいたる過程が詳しく描かれています。このほか、有馬温泉・道後温泉への行幸、中国大陸を統一して間もない唐帝国への遣使、九重塔のそびえた百済大寺の造営開始など、注目すべき記事も多々あります。関係史料や考古学的所見にも目配りしながら、舒明紀の記事をじっくりと読み解いていきます。

## オンライン講座 Zoomによるオンライン開催 4回 完結

### Cコース ▶ 懐徳堂の人々 — 続・懐徳堂人物伝 — 原則第2土曜日 13:30~15:00

中村未来先生(福岡大学准教授)、藤居岳人先生(阿南工業高等専門学校教授)、草野友子先生(大阪公立大学・立命館大学研究員)、竹田健二先生(島根大学教授)によるリレー講座

令和6年(2024)に開校300年を迎えた懐徳堂。令和7年度は前年度「懐徳堂人物伝」の続編として、前年度と同じ4人の講師がオンラインのリレー方式で懐徳堂の主要人物を紹介します。第1回は、懐徳堂の官許獲得に奔走した中井鏊庵の著作を読み、その思想をたどります。第2回は、江戸時代当時の社会的課題に対する中井竹山の意見書『草茅危言』を読み解きます。第3回は、中井履軒の主要著作である『論語逢原』などを読み、中国の古典をどのようにとらえていたのかを探ります。第4回は、松山直蔵と吉田鋭雄という二人の教授を通して、重建懐徳堂がどのような学校だったのかを考えます。

## 対面講座 大阪大学中之島センターにて対面開催 8回 完結 D・Eコース 同日開催

### Dコース ▶ 黄表紙を読む — 山東京伝と蔦屋重三郎 — 原則第1土曜日 13:00~14:30

有澤知世先生(神戸大学准教授)

本講座では、18世紀末から19世紀初頭にかけて江戸で出版された大人向けの滑稽な絵本・黄表紙を読み解きます。黄表紙とはもともと武士を中心とした知的階級の人々が戯れに作り、仲間内で楽しんだもので、作者と同じような文化圏にいる人にだけわかるような細かな仕掛けが施されている一方、ナンセンスで滑稽な作風や当世風の絵、ご当地江戸の話題を描いたことなどから、江戸土産としても広く親しまれ、約30年間にわたり新作が刊行されました。本講座では、代表的な江戸戯作者である山東京伝の黄表紙に施された仕掛けを読み解き、当時の知的遊戯を味わいます。また、黄表紙流行の立役者のひとりである江戸の本屋・蔦屋重三郎の活動に注目しながら当時の出版文化について解説していきます。

### Eコース ▶ 親鸞を読む 原則第1土曜日 15:00~16:30

平雅行先生(大阪大学名誉教授)

親鸞については、15年ほど前に、古典講座の夏期集中講座で取り上げました。その後、親鸞の伯父に関する新出史料が発見されるなど、研究は着実に進んでいます。また、「鎌倉新仏教」という用語が批判されるなど、鎌倉仏教研究も大きく様変わりしつつあります。これらの研究動向を踏まえながら、親鸞の事績とその思想が鎌倉時代の社会や人々にとって、どういう意味をもっていたのかを、一緒に読み解きたいと思います。

## 前期オンライン・大阪大学中之島センターにて後期対面 前期のみ・後期のみの申込み可能です

### Fコース ▶ 変容する能 原則第3木曜日 13:30~15:00

前期(オンライン) 能の歴史が動いた「その時」(全4回)

宮本圭造先生(法政大学教授)

能楽は七百年近い歴史を持つ伝統芸能です。その歴史の中にはさまざまな転換期がありました。今回は、能楽の歴史を大きく動かしたエポックメイキングな催しに着目して、そこで演じられた能の作品と意味について考えてみたいと思います。前期の4回は以下のようなことを予定しています。

①今熊野猿楽の『翁』 ②文禄二年禁中能の『松風』 ③寛永十一年仙洞能の『関寺小町』 ④明治十一年青山大宮御所の『正尊』

後期(対面開催) 世阿弥から禅竹へ(全4回)

天野文雄先生(大阪大学名誉教授)

能楽には、歴史、作者、時代、作風、文辞、音楽、素材などいろいろな面がありますが、今回は、能の基礎をきづいた世阿弥と、その女婿であり岳父世阿弥から多くの教導を受けた金春座の大夫禅竹を、それぞれの作風を作品をとおして考えてみたいと思います。後期の4回は以下のようなことを予定しています。

①世阿弥の『忠度』と『経正』を読む ②禅竹の『井筒』と『壮若』を読む ③世阿弥の『逢坂物狂』と『蟬丸』を読む ④禅竹の『難波』と『賀茂』を読む

※開講日・講師等は、都合により休講・変更となる場合があります。 ※各コースの詳細な日程は、記念会ホームページ等をご確認ください。